

授業科目	宿泊業特講 Lecture on Lodging Industry			担当教員	井上 英也		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>本講では、変化するホテル経営・運営のあり方について考察する。日本のホテル業は、ホテル不動産の所有、経営および運営が一体化しているのが一般的であったが、現在では、機能が分化し、不動産の専門家、ホテル運営の専門家、不動産金融の専門家等の幅広い関係者が参集している。その結果、ホテルの経営・運営にはゲストへのサービスの提供という内向なものから外部のステークホルダーを意識したホテルマネジメントへの転換が求められている。本講においては、現在のホテル業の実態を調査し理解すると共に、今後のあり方への提案を行うことをねらいとする。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	教室での講義に積極的に参加し、適切な質問や意見交換ができる。			授業での貢献度		20%	
思考・判断	消費者の視点だけでなく、ホテルを取り巻くステークホルダーの視点から物事を考え、業界の将来を予測することができる。			レポート		20%	
技能・表現	PCを使い、統計データを Excel で集計・分析し、パワーポイントにまとめてプレゼンテーションができる。			プレゼンテーション①		20%	
知識・理解	観光産業の主要産業であるホテル業に関して、経済環境・事業特性・事業上の問題点を理解し、解決提案ができる。			論述試験		20%	
				プレゼンテーション②		20%	
出 席							受験要件
合 計							100%
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>授業貢献 : 40% 質問、発言などの回数、プレゼンテーション、グループワークなどを観察法で評価。 発表・レポート : 40% 論旨・形式要件、およびプレゼンテーションをもとに評価。採点后、全体の講評を行う。 試験 : 20% 論述式で宿泊業の理解度を問う。</p> <p>尚、課題・レポートなどへのフィードバックは、授業中あるいは Manaba において個別に行う。</p>							
授業の概要							
<p>本講は、次の3部により構成する。 第1部 グローバルなホテル市場とホテル開発 / 第2部 マーケティングとホテル運営 第3部 次世代のホテル経営と運営への提言</p> <p>授業は、各回の講義のテーマに対する各自の問題意識をもとに、教員と学生および学生間のインタラクティブな意見交換により進められる。そのため、各回、テーマに関する事前の情報収集などの準備が必須となる。また、各部の終了時点には、テーマに則した内容のプレゼンテーションを課し理解の深化を問う。最後に、ホテル業の今後のあり方に向けた提言を制作・完成させる。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：『ホテルマネジメント15のポイント』デロイトトーマツFAS（株）編著 参考書：観光白書（観光庁）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>新聞、雑誌、インターネットなどでのホテルおよび観光情報に常にアンテナを張って情報収集に努めることに期待する。加えて、近隣の興味を持った施設には、自ら出向き、スタッフから意見聴取をし、実体験を通じてホテル運営についての理解を深める。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	講義の進め方、評価基準などを説明する。	シラバスを読んでおく
2	日本のホテルビジネスのグローバル化	外資系ホテルチェーンの日本進出および国外の投資会社によるホテル買収などにより進む国際化の現状を理解する。	予:教科書の第1章(P10~19) 復:外資ブランドをまとめる
3	ホテル開発の経済合理性	ホテル投資を検討するためのフィジビリティスタディを考える。	予:教科書の第2章(P20~40) 復:開発投資の方法をまとめる
4	海外ホテルと国内ホテルの収益構造	収益構造における日系ホテルの特殊性について検証し、課題を抽出する。	予:教科書の第4章(P55~70) 復:課題レポート作成
5	事業計画の作り方	ホテルの事業計画に必要な要素を理解し、想定される条件下での運営計画を策定する。	予:教科書の第5章(P72~92) 復:事業計画の項目をまとめる
6	顧客目線のマーケティング戦略	グローバルに広がり多様化するホテル顧客へのマーケティング戦略を考察する。	予:教科書の第6章(P93~121) 復:顧客多様化の例を調べる
7	従業員エンゲージメントを高める人事戦略	労働集約型であるホテル事業の重要な経営資源である従業員の戦力を高める方策を考察する。	予:教科書の第7章(P122~134) 復:新たな働き方をまとめる
8	グローバル化の会計ユニフォームシステム	グローバルスタンダードのホテル会計基準であるユニフォームシステムについて理解する。	予:教科書の第8章(P135~149) 復:帝国ホテルの決算書を読む
9	投資家から求められるホテル経営の客観的な指標	投資市場でのホテルの評価について多角的に検証する。	予:教科書の第9章(P150~164) 復:課題レポート作成
10	ホテルのリノベーション戦略	競争力を維持・強化するためのリノベーション(施設改修)について考察する。	予:教科書の第11章(P182~200) 復:旅館の改修問題をまとめる
11	ホテルの不動産戦略	ホテル経営・運営に関わるステークホルダーを理解し、不動産価値拡大の方策を考える。	予:教科書の第12章(P201~215) 復:ホテル資産価値をまとめる
12	ホテル業界のM&A	巨大化するグローバルホテルチェーンの拡大方法を事例から学ぶ。	予:教科書の第14章(P237~247) 復:マリオット戦略をまとめる
13	ホテル事業の業績低迷時の対処法	運營業績悪化の要因を想定し、対処策を検討する。	予:教科書の第15章(P248~258) 復:課題レポート作成
14	ホテル経営・運営の課題抽出	現在の国内ホテル業の課題を取り上げ、それに対する方策を検討してまとめる。	予:国内ホテルの課題を抽出 復:プレゼンテーション作成
15	提案の発表	提案に関する討議とふりかえり	予:プレゼンテーションを準備する